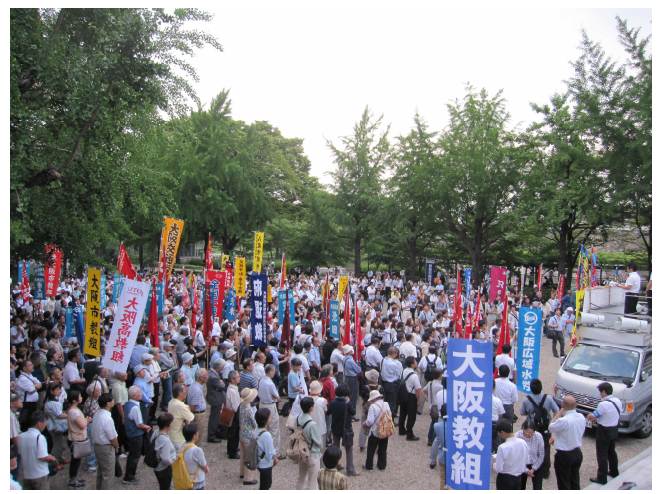


オスプレイ訓練の八尾空港受け入れ反対！抗議集会を開催！！

6月24日、大阪城公園内教育の塔前広場において、大阪平和人権センター主催による、「オスプレイ訓練を八尾空港で受け入れに厳重に抗議する集会」が開催されました。これは、橋下日本維新の会共同代表と松井大阪府知事が、沖縄普天間基地に配備されている米海兵隊の新型輸送機MV22オスプレイの飛行訓練の一部を大阪八尾空港で受け入れると提案し、政府は「検討する」と応えたことに対して抗議の意思を示すために急遽開催されたものです。

そもそも大阪八尾空港は住宅市街地にあるだけでなく、施設整備などの問題の他、構造自体がとてもオスプレイを配備し訓練できる空港ではありません。空港法で八尾空港は最大離陸重量5.7トン未満の小型航空機専用空港であり、23.9トンのオスプレイは規定を超えています。このような初歩的、基本的な問題すら認識しないで、八尾市に何ら説明することなく、住民の安全を省みることなく、思いつきのように発言することは断じて許されることではありません。

発言の背景には、橋下共同代表の「慰安婦問題」についての人権蹂躪、差別発言に対して、国内外からの批判が集中したことがあります。この批判をそらし、汚名挽回を意図したパフォーマンス、米軍や政府に媚びを売るための行為でしかありません。うがった見方として、橋下は政府の「沖縄の負担を全国で分かち合う」という役目を請け負って今回の発言を行ったのでは、という意見もあります。いずれにせよある時は行政のトップ、ある時は国政政党の政治家として発言を使い分ける、このような無責任極まりない政治家をのさばらせておくことは大阪の恥でしかありません。オスプレイの訓練をどこで受け入れるかではなく、オスプレイ阻止・普天間基地の撤去を求めることが、真の意味で沖縄の人たちに連帯することに他ならないのです。



オスプレイの訓練反対！ 普天間基地撤去！